

## 坂戸城攻防 100年の歴史

1510年	長尾為景、関東管領の上杉顕定を南魚沼市の長森原で討つ。(永正の乱)
1512年	長尾房長(景勝の祖父)による坂戸城の本格的な築城。
1514年	越後守護の上杉定実派の上条定憲が坂戸城を攻める。(六日市合戦)
1535年	長尾為景派の下平久長が坂戸城を五十沢口から攻める。(天文の乱)
1564年	長尾政景(景勝の父)、野田尻の淵において水死。
1575年	景勝、上杉謙信の養子となり春日山城に入る。よって、坂戸城は支城となる。
1578年	上杉謙信が急死、景勝と景虎の家督争い勃発。(御館の乱)坂戸城にも北条勢が大軍で攻めるが、落城せず。
北条勢の関東からの侵入に備えて、大掛かりな城の改修工事。	
1579年	御館の乱、景勝の勝利で終焉。
1598年	景勝、会津に圍替え。坂戸城には堀直奇が2万石で入城。
2万石の大名の居城として、御館に石垣を積み家臣屋敷や御居間屋敷などが築かれたと考えられる。	
1600年	堀直奇、関ヶ原の合戦に伴う越後一揆勢に攻められた下倉城を救援
1606年	堀直奇、長岡の蔵王堂城主が病没したため、蔵王堂城主を兼任。そのため、蔵王堂城を居城とし、坂戸城には代官をおく。
1610年	堀家内紛により坂戸城は没収。堀直奇は改めて飯山4万石を与えられる。これにより坂戸城は廃城となり現在に至る。

### 坂戸城跡へのアクセス

- 交通のご案内
- JR上越線・六日町駅より徒歩20分
  - 関越自動車道・六日町ICより車で10分



### 南魚沼市役所商工観光課

〒949-6696 新潟県南魚沼市六日町180-1 ☎025-773-6665

### 南魚沼市観光協会六日町案内所

〒949-6826 新潟県南魚沼市六日町140-2 ☎025-772-7171



実城から大城・小城を望む  
金城山へ連なる尾根の最南端にある郭が大城で、途中の郭が小城。こも春先にはカタクリの群生が見られる。



実城(裏の石垣)  
普段、ここで暮らすことはなく、戦時を立てこもって本丸としたと考えられる。

「坂戸城はいつ築かれたのですか？」とよく聞かれますが、その答えは大変難しく、一言では答えられません。それは、坂戸山全体が一つの要塞であり、はたしてどこまで完成した時期をもって築かれたとするのかはつきりしないこと、また、初期のころの歴史については、まだ解明されていないことが多く、推測の域を脱していないからです。城内の各施設についても築かれた年代は様々で、築かれた年代がわからない郭もたくさんありますが、当時の人々の苦労や思いを想像しながら、坂戸城跡を探访していただきたいと思います。



主水郭(空堀)  
本丸への攻め口であるため、坂戸城でもっとも防御のために工事が施されている郭。



桃の木平(カタクリの群生)  
坂戸城最大の郭。水堀もあり、籠城の際の食糧に遺した場所であったと考えられる。現在は、カタクリの群生地として知られる。



石垣と石碑  
高さ2m、長さ80mの石垣があり、中央の大きな門の奥には城主の居館(御館)があったと考えられる。



上杉景勝公・直江兼続公  
生誕之地の石碑  
郷土が生んだ二人の英雄を讃える石碑。